

授業改善推進プラン

【教科名：特別の教科 道徳】

	現状分析	課題	具体的な方策
1年	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に考え、自分の意見を持つようとしている。 話し合い活動では、自分の意見は発表するが、あまり活発ではない。 自己中心的な発言が多く、協調性が不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> 肯定的に相手の意見を捉え、そこから新しい考えや気づきを得るような経験の積み重ねが必要。 協調性を持った生活態度を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> I C T危機の活用や、各教科での話し合い活動を充実させ、他者の気持ちを押し量り、話し合いが生産的な活動となるよう支援する。
2年	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に考え、自分の意見を述べるができる。 他人の意見を基に考えを深めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分と他人の考えが異なることは理解していても、些細な違いで傷ついたり、悩んだり、苛立ったりしてしまう。 「自分だったらどう考えるか」ではなく、模範解答を求めてしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活の様々な場面で、他者の立場に立った考え方や気持ちの推測をさせていく。 十人十色の考え方があったり誰かが弱さをもつことを認めることで、自分の内面について深く考えさせていく。
3年	<ul style="list-style-type: none"> 様々な意見・考え方をもっている。取り組み方には偏り・波があるが、以前に比べて自分なりの意見を表現する生徒が増えた。 	<ul style="list-style-type: none"> 全員が、深く考え、自分なりの意見を持ち、他者の気持ちを踏まえて表現できるようにしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 視野を広くもつこと、多様性を大切にすることなど、教材と絡めながら伝え続けていく。

【教科名：特別活動】

	現状分析	課題	具体的な方策
1年	<ul style="list-style-type: none"> 運動会や文化祭の準備など協力する姿勢が見られる。 新しいことに挑戦することに消極的である。 	<ul style="list-style-type: none"> 各々のリーダーシップを発揮し、クラスに貢献しようという更なる意識付け。 困難なことでも挑戦してみる姿勢を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 文化祭の準備を行う過程で、リーダーシップの育成を図る。 学級で失敗を肯定し、挑戦しやすい環境を築く。
2年	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度経験できなかった行事に対し、一生懸命に取り組んでいる。 文化祭に向け、リーダーを中心に頑張ろうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 先輩の指示に従うだけだったため、次年度にリーダーシップを発揮することに不安が残る。 疲れから授業中に集中力が欠けたり、欠席したりする生徒もみられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 新島中の中心となり、後輩を迎え入れる立場が変わっていくという意識付けを適宜行い、リーダーを育てていく。 生徒の様子を見ながら声掛け、指導をしていく。
3年	<ul style="list-style-type: none"> 中心となったり、リーダーを務めたりしようという意識が高い。 文化祭や修学旅行など、残 	<ul style="list-style-type: none"> 一部の生徒だけでなく、全員が協力してものごとに取り組む姿勢を育む。 クラスを自治・運営してい 	<ul style="list-style-type: none"> 多くの生徒に役割を与え、責任を果たせるような体制をつくる。 過干渉せず、生徒の様子を

	された行事に向けて、前向きに取り組もうとしている。	く力を育てる。	見ながら手助けすべきところに絞って指導を行う。
--	---------------------------	---------	-------------------------

【教科名：総合的な学習の時間】

	現状分析	課題	具体的な方策
1年	<ul style="list-style-type: none"> 遠足の調べ学習、まとめ学習に主体的に取り組めた。 進路学習をこれから計画、実施していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の意見を伝えたり、友達の意見を聴いたりする力の育成。 職業調べや進路学習で、将来の進路について考える力の育成。 	<ul style="list-style-type: none"> 進路学習を通して、働くことの意義とさまざまな進路があることを理解させる。
2年	<ul style="list-style-type: none"> 職場体験を含めた進路学習を通じ、働くことの意義や大変さを学ぶことができた。今後、事後学習として職場体験の発表会に向けて準備をしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な職業を身近に感じる機会が少なく、知っている職業が将来の進路選択先になってしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> 企業訪問(オンライン)やハローワークの方の講演などを通じ、様々な職業があること、その職業の魅力などを伝えていく。
3年	<ul style="list-style-type: none"> 修学旅行や文化祭の実施を見据え、計画・準備をし、班員やクラスの仲間と協力することができている。 進路を自分事として捉えられておらず、受け身姿勢が目立つ。進路選択に悩んでいる生徒も多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 総合的な学習の時間で学んだことを表現し、今後に生かしていく。 新しい情報を正確に伝え、多様な進路選択に対して指導していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 総合的な学習の時間の発表会を行い、さまざまな視点で学んできたことを表現する機会をもつ。 全体指導と個別指導を使い分け、全員の進路選択をサポートする。また、保護者との連絡・相談を密にし、教員間で共有する。